

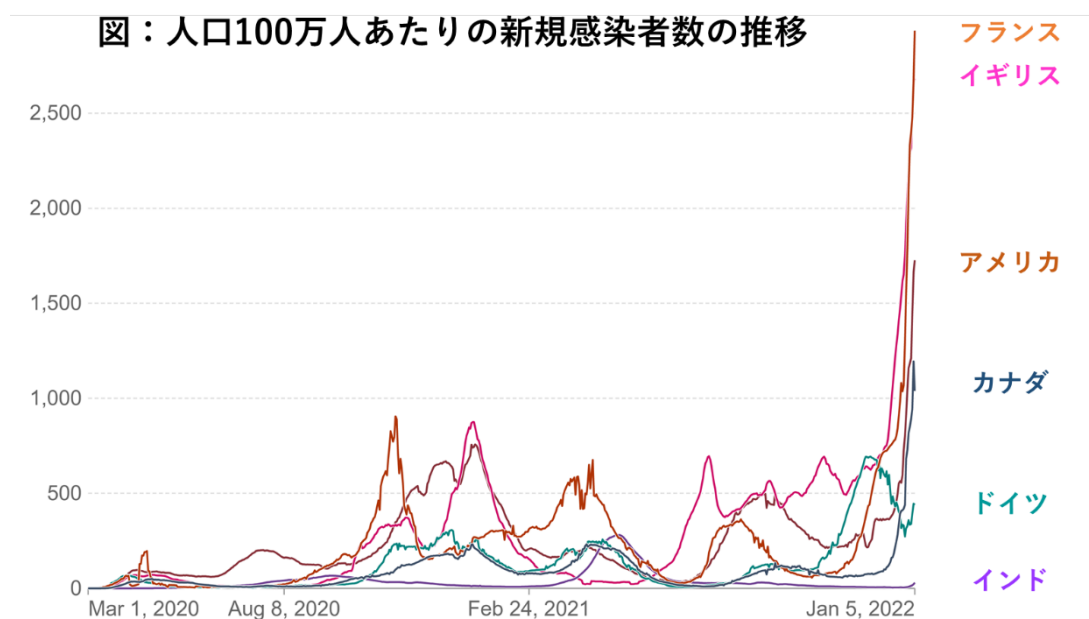
患者様・ご家族、職員の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の流行から今年で3年目を迎えました。2021年11月頃には日本国内で第5波が収束し、当院でも面会時間、職員の行動制限を緩和しておりました。しかし、2021年12月より欧州諸国を中心にオミクロン株の市中感染が拡大し、各国とも過去最大の流行を迎えています（図）。また、最新の研究によりオミクロン株の特徴がわかってきました（表）。

オミクロン株は従来株と比べて重症化率が低い反面、極めて強い感染力により感染者が爆発的に増加する特徴があります。重症化率が低いとしても感染者数そのものが多くなりすぎれば重症者数も増え、結果的に医療体制の逼迫に繋がります。そのような事態を避けるためには、**今後多くの国民が3回目のワクチン接種を行うとともに、感染予防対策を講じ、感染者数のピークを抑える必要があります。**

日本国内でも年始とともに新規感染者数が増え、1月5日の新規感染者数2491人、実効再生産数は1.85に上昇しました。1月6日、日本政府は急激な感染者数増加がみられた沖縄県、広島県、山口県をまん延防止等重点措置に指定する方針を発表しました。高知県の新規感染者数は1月6日時点で15人/週ですが、既にオミクロン株の市中感染が確認されており、今後急激な感染者数増加が予想されます。

当院ではオミクロン株の非常に強い感染力を考慮し、**1月11日より院内感染対策レベルをレベル1⇒レベル2へ引き上げを決定しました。**これにより入院患者様の面会は原則禁止、職員の皆様にも再び行動制限をお願いすることとなります。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほど宜しくお願いします。



表：オミクロン株の特徴

- オミクロン株は第5波の主役となったデルタ株よりも伝播性が高い。
- ワクチン2回目接種から6か月以上経過すると発症予防効果は10%まで低下する。
- ワクチン2回接種後6か月以上経過しても入院予防効果は52%と高い。
- 3回目のワクチン接種により発症予防効果は70～80%に再び上昇する。
- デルタ株と比較し入院率は約1/3と低い。

（出典：Our World in Data, UKHSA publication gateway number GOV-10869）

感染拡大防止のため

面会禁止

特別な事情の場合を除き、面会は全面禁止とさせていただきます。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

<洗濯物等の受け渡しについて>

14時～17時までの間に受付(1階)
へお申し出ください。

<入館について>

体温が37.5度以上や体調不良の方、
マスク着用のない方の院内への立ち入りは、全てご遠慮いただいております。

※発熱外来受診の際は、まず、お電話にてお問合せください